

## 四谷地区協議会

### まちへの愛着を深めてもらうきっかけに 歴史ある四谷のお宝さがし

四谷地区では、地域課題等の解決に向けてさまざまな活動を行っています。今回は、まちの「お宝」を通じて、地域の方のまちへの愛着や、まちを探访する過程での交流など、地域コミュニティの活性化を目的とした「四谷のお宝さがし」を紹介します。江戸期に武家屋敷が立ち並んでいた四谷には、歴史・文化的な気風が今もあり、古くからの言い伝え・老舗・建造物なども残っています。こうした歴史的なものに加え、四谷のまちのイメージに合った人や物・建物も「お宝」として募集し、地域の皆さんに身近に感じてほしい、「四谷のまち」を愛してもらうきっかけにしたいと考えています。

10月12日の「四谷大好き祭り」では、昨年集まった24点の「お宝」を写真展示しました。孫文の書や華族・四条家の漆塗り椀など歴史的価値のある「お宝」に来場者も興味津々。若葉にある巨大サボテンなど、話題になったもの



四谷大好き祭りでの展示風景



お宝の漆塗り椀

もあります。  
今年度集まった「お宝」は、3月7日(土)の発表会で展示・発表します。(地区協議会お宝さがし実行委員会委員・豊村泰彦さん)

## 若松地区協議会

### 事例を学び後継者の育成を 川越・小江戸蔵造りのまち視察

10月8日、蔵のまちで有名な、川越のまちづくりを視察しました。目的の一つは、住民と行政が協力してまちづくりを成功させた手法を学ぶことでした。川越は、過去2度の大火で市街地が燃え尽きた経験があります。それを機に、土蔵を再建して「江戸」を復活させ、また、電線を埋設させて広告看板を取り払うことで、江戸時代のまち並みを再現しています。住民の協力を得て、行政が動いた好事例だと思いました。



川越市役所で説明を受ける



蔵のまちの視察

二つ目の目的は、地域活動の後継者の育成です。地域活動も「面白い」と思ってもらえることが重要です。本来、自分たちの住むまちに関心を持つのは、大事なことであり面白いことなのです。今回の視察はそれを理解していただくきっかけでした。特に、団塊の世代の知恵と経験のある皆さんに参加していただきたいですね。(地区協議会委員・金田宣紀さん)

## 戸塚地区協議会

### 学び、語らい、活気ある戸塚へ 地域一体でまちづくり

まちづくり分科会では、戸塚地区の将来像「心豊かに集う、文化と福祉と若者のまち」を目指し、まちづくりに関するさまざまな活動をしています。

10月2日に実施した第1回「高田馬場・西早稲田まちづくり講座」では、早稲田大学の後藤教授や学生・区職員を招き、大学のまちづくり提案や新宿区景観まちづくり



講座の様子

計画についてお話を伺いました。昔、この辺りには下宿街があり、学生と地域が密に交流していましたが、今、地元から通う学生はかなり少なくなっています。地域と学生の距離が近づくことで、まち全体を活気づけることができるのではないのでしょうか。



古澤謙次さん

戸塚地区を、緑豊かな散策を楽しめるまち、安心できるまち、歴史を感じられるまち、福祉の充実したまち、学生と地域が密着したまち…。そんなまちにしたいと思っています。(地区協議会副会長・古澤謙次さん)

## 声出し 知恵出し 参画し 区民プロデュース! イキイキまちづくり①

「区民が区政に参画し、地域課題を解決する場」として、10か所の特別出張所ごとに地区協議会が組織されています。3年目を迎えた各地区協議会では、町会・自治会をはじめとする地域団体から選出された委員と公募委員の皆さんが集まり、情報の共有や意見交換を重ねながら、より住みやすい地域づくりを目指して活動しています。

今号と2月5日号では、それぞれの地区協議会をお訪ねし、参加されている皆さんから伺った内容を中心にご紹介します。

皆さんも、地区協議会の活動に参加してみませんか。

【問合せ】各地区協議会(各特別出張所内)へ。

※2月5日号では、簞笥町・榎町・大久保・落合第一・角筈の5地区協議会をご紹介します。

## 柏木地区協議会

### 老若男女が笑顔で集うまちづくり 65歳のパワー全開! 「健康長寿教室」



ゲーム感覚で頭の体操

以前は高齢者福祉と子育て支援などのグループに分かれていましたが、「世代を超えた地域交流」を目指し、昨年からは一緒に活動しています。そこで、大勢の人が参加しやすいものは何か、と常に考えています。

10月21日には、65歳以上の高齢者の方を対象に、専門家による簡単な体操(握力測定・歩行測定・開眼片足立ち)と栄養指導を実施しました。予想以上に参加者があり、皆さんに大変喜ばれ、よかったです。

「こういう人がこの地域にいるんだ」と互いに知り合うことは、まちづくりの基本で、何より大切なことだと思います。これからも、このような機会から学びながら、地域の交流を広げていきたいと思っています。(地区協議会委員・徳山良子さん)

簡単な運動なのに意外とできないものですね(笑)。若いころは、大抵のスポーツはしたのですが…。今日は皆さん笑顔でよかった。笑顔が何よりです。(教室参加者・小林佳直さん)



栄養のお話

## 落合第二地区協議会

### 若葉地区の「地区計画」に学ぶ!木造住宅密集地での災害に強いまちづくり 住民の声をまちづくりに

10月2日、若葉地区(四谷)を見学して、まちづくりに時間はかかるのだなと思いました。消防車が通れない道や、崩れる危険がある崖面を放置してはあけないとはいえ、区画道路の整備や沿道の緑化対策は、住民の理解なくしてはできません。住民と行政が協力した若葉地区のケースは、非常に参考になりました。



説明に熱心に耳を傾けます

現在の法律や区の条例では、良好な住宅地の環境を守っていくことに限度があります。これからは、「地区計画」と併せて機能し、まちづくりに役立つ手順や基準を持つ、今の新宿区にはない「総合まちづくり条例」について、ほかの自治体の先例を勉強していきます。

いずれにしろ、まちづくりに、住民の意識と声が非常に重要です。(地区協議会委員・平岡徹さん)



若葉地区を見学する皆さん